

# タウンウォッチング

私達の住む美しい『みのお』を  
再発見しましょう

みのお市民まちなみ会議では、年間8回タウンウォッチング(まちあるき)を行い、皆さんと一緒に街を見て歩いております。参加自由ですので、楽しく歩きながら、新しいものを見つけましょう。昨秋に歩いたコースを紹介します。日々姿を変える彩都や箕面森町の住宅地の新しい街づくりを見て、これからの街の在り方を考えるのも楽しいです。日頃気付かない新しい発見や思わぬ景観に、驚き一杯です。散策や探訪の参考にして下さい。

まちなみウォッチング 第70回

彩都の住宅街と展望

2012. 10. 20

## 次々に姿を変える彩都の住宅街を巡り、展望を楽しむ

ウォッチングコース

歩行距離 約4.0km

間谷住宅 3B/S → 間谷北公園 B/S → 彩都栗生南 6 住宅地 → 彩都みのり保育園  
→ やまもも公園(休憩) → そよかぜ橋(展望) → 彩都やまぶき住宅(茨木市) → 阪大  
外国語学部 → 間谷住宅 4B/S(解散)

間谷住宅の最北端、間谷給水塔の左脇、歩行者専用道を抜けると、すぐに彩都栗生南6丁目の住宅街に出ます。続々と住宅が建設されています。左手は箕面市の中心部から千里丘陵にかけて、雄大な展望が楽しめます。国際文化公園都市4号線に面して、彩都みのり保育園がオープンしています。

やまもも公園



彩都みのり保育園

北側には小中一貫校「彩都の丘学園」の校舎が太陽に輝いています。この道は山麓線の帝釈寺北交差点に接続する予定です。

彩都栗生南5丁目のやまもも公園付近の住宅街は、最も早く分譲された住宅街で、住民の工夫と努力で、花づくりや庭の植栽も着々と進み、



そよかぜ橋付近の展望

面市の山裾景観保全地区で、景観に配慮した建物で、モノレールの駅に近く、彩都の森学園の校区だけに人気が高いようです。阪大の構内を通過してバス停に向かいます。

見て回ると楽しく参考になります。公園で一息入れて、彩都の丘学園横の道を緩やかに上ります。現在開発造成中で、どのような街が出来るのか、ワクワクします。川合裏川に架かるそよかぜ橋に出ると、右手の展望が開け、茨木市から生駒山へ続く大阪平野が一望されます。通行できる最も眺望が望める場所で、標高もかなりあります。川を吹き下る風が爽やかで、汗を引かせてくれます。茨木市側の彩都やまぶき住宅街を経て、彩都栗生南4丁目の大型マンション群を左手に見ながら歩きます。このエリアは箕

まちなみウォッチング 第71回

箕面新町の街づくり

2012. 11. 24

新名神の開通が待たれる新しい街、箕面森町の街づくりの工夫

ウォッチングコース 歩行距離 約 4.0km

白島 B/S → とどろみの森学園前 B/S → 森町南 1,2 住宅地(新規開発地) → 地区センター(休憩) → 止々呂美 1 号公園 → 森町北 1, 2 住宅(電柱の無い街) → 森町中 3, 2 住宅街 → 展望所(変貌する森町を展望) → 地区センター B/S → 白島 B/S(解散)

白島 B/S を出発してトンネルを抜けると、巨大なコンクリートの支柱が何本も見えて来ます。新名神高速箕面 IC 関連の工事で、完成しますと、全国各地への高速道路への接続が画期的に改善します。一方で、店舗やサービス施設などが増加し、客を誘導する看板の乱立、資材置き場の設置などが予想されるため、箕面市は止々呂美地区の景観を守る処置が本年 4 月より施行します。

止々呂美の森学園 B/S を下車すると、すぐに新たに分譲を開始した森町南 1,2 丁目を散策します。全体に平坦で幹線道路にはシンボルツリーのユリノキなど街路樹が 3 重に植樹され、箕面市でも初めての試みの並木道が造られています。通学路、住民の散策路となる「里山こみち」なども整備されています。戸数約 2,900 の大規模なもので、順次分譲されます。止々呂美東西線の北側は大阪府、南側は民間企業の開発地で、今後

森を眺める。森につつまれる。  
花と緑を囲む。  
自然と共生する街区プラン。

自然を巧みに取り込んだ個性的な7つの街区プラン。

「登道路明ヒースガーデン」は、自然と巧みに調和する街づくりを追求。森を見下ろす丘陵状の街区、森にせり出す半島状の街区、緑道沿いの街区など、多彩な住宅ゾーンを演出。住まうほどに、緩やかに自然と調和する暮らしを創造しました。

日々、四季の趣を感じる暮らし。緑道と公園が連なってきた街。

それぞれの住宅街区は、街のメインストリートとなる「ゆりのきプロムナード」と「里山こみち」を中心に、季節の彩りをテーマにした楽しい公園や緑道、歩行者道路で結ばれます。周辺の自然景観も楽しみながらどてを歩いても緑が目に入る美しい街として誕生します。



両者のフォローの違いが、住民の満足度に係わるでしょう。すでに転住された方は「山が近く学校も近く、通勤も便利で良い環境です」と話されていましたが、スーパーなどの大型商業施設、町医者や歯医者、美容院、理髪店など生活の利便性を考えて購入を躊躇されている方も多いようです。公的機関の学校、保育所などは整備されていますが、民間企業の進出は「店が先か、人の増加が先か」のせめぎあいが続いています。

止々呂 1 号公園は規模が大きく、一面の芝生で



三重に植樹された並木道

休日には親子連れの住民の笑い声が響いています。谷川を利用した親水公園も併設されていて、夏場に涼を楽しむことも出来そうです。

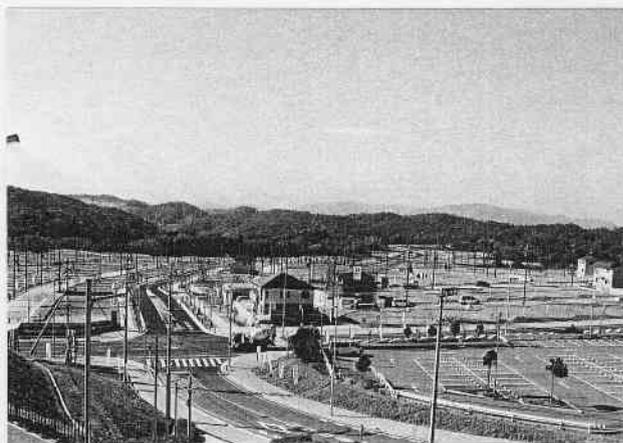
森町北 1,2 丁目へ入ると、道路が曲線になっています。生活道路で新規に造られた道では非常に珍しく、機能性は落ちますが、ゆとりと温かさを感じます。これからの街づくりのテストケースです。なを、此处では電柱が在りません。箕面の住宅街では小野原東 5 の一角に次ぐものです。



曲がりくねった道の街(電柱が無い)

最も早く分譲された森町中 3,2 丁目は、住民の方も環境に慣れ、緑の小道の植樹も長年鹿の被害に悩ましましたが、住民や関係者のご苦労が報われ、大きく成長し豊かな緑を形成しています。最後に展望所より眺望を楽しみました。訪れる度に姿を変える箕面森町の街並みが一望されます。地区センターからバスに乗車すると、僅か 13 分で白島 B/S に到着します。

美しく育った小道の植樹



日々変わる森町の展望



## メルセデス・ベンツ

### シュテルン近畿 箕面サーティファイドカーセンター

国道 171 号線萱野 4 丁目交差点の南西角に、箕面カーセンターが改装オープンした。同店はベンツの販売店として市民に親しまれていた。改装を機会にかねて箕面市から屋上看板の撤去(市の規定では新たな設置は不可)を指導されていたので、思い切って撤去した。この為デザイン的にスッキリした。周辺では、まだまだ市の指導を受け入れていない店舗も多く、街並みの景観を損ねている。この度の**屋外看板の撤去**は会社の社会貢献への一環として行われたもので、該社の経営姿勢を表すものとして敬意を表したい。

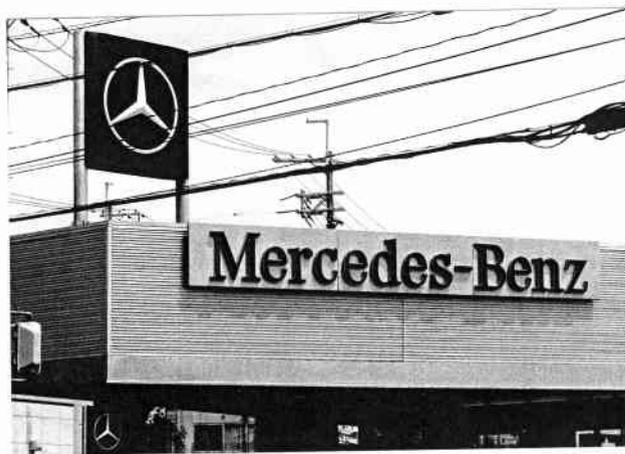
箕面市の景観条例や看板など屋外広告物の規制は、他の周辺市町村に比して厳しいとの声を聞く。「京都や鎌倉でもあるまいし」と窓口の担当者には、しばしば非難の声が寄せられるが、北摂の山並みの元、みどり豊かな生活環境を維持するためには、市に任せるだけでなく、市民一人一人が街の景観に関心を持つことが大切です。

今回の改装機会に会社が屋外看板の撤去に踏み切られたのは、箕面市の生活環境を大切に考えられた結果です。このような考え方が、多くの店舗に広がることを願っています。



屋外看板を撤去した店舗

改装前の店舗



今年も「みのお市民まちなみ会議パネル展」に協賛展示をさせていただきます。”足元にもロマンが在る”の全国各地のマンホール蓋の写真です。展示は船と城をパネルにしました。

船はいろいろな種類が在り、漕ぐ舟と風を帆に受けて走るものに分けました。小さな舟は人の手で漕ぎ、昔からあった渡し舟、釣り舟、農業用の田舟から、最近ではカヌー、ボートなどスポーツ、レジャーにも多くの種類があります。一方、人の力で動きにくい大きな船は、風の力を利用しました。遣唐使船、南蛮船、北前船など大海原を走るために、沢山の帆が利用され発達しました。珍しいものでは、霞ヶ浦(茨城県)や不知火海(熊本県)で行われている、帆引き網船です。風を帆に受けて、ゆっくり網を引く漁法ですが、エンジンの小型化や発達で、だんだん減っています。

私の最もお気に入り、横浜市は日本丸です。風を万帆に受けて疾走する姿は、まさに海の女王です。相生市のペーロン競争も漕ぎ手の迫力が伝わります。船シリーズでは、ヨットが最も沢山ありました。日本は四方を海に囲まれ、各地で海上スポーツ、レジャーとして人気が高いのでしょう。

一方、お城シリーズですが、全国に沢山の城、城址があります。復元されてたものも在りますが、マンホール蓋は意外に少ないので驚きました。みなさんご存知の国宝姫路城、「彦にゃん」で有名な彦根城、テレビドラマで脚光を浴びている会津若松城を

期待して撮影に行きましたが、姫路は市の花の鶯草、彦根は市草、会津若松は磐梯山で、城のマンホール蓋は在りませんでした。

そんな中で、大阪市はカラーで大阪城を描いております。他に水道の制水弁、空気弁にも大阪城をデザインしています。”尾張名古屋は城で持つ”と云われる名古屋市は、マンホール蓋に名古屋城は無く、消火栓の蓋にデザインされていました。有名なものでは国宝犬山城(愛知県)、徳川家康が生まれた岡崎城(愛知県)、旅番組で取り上げられる丸亀城(香川県)などがあります。

その他、美しい扇形の石垣が聳える津山城(岡山県)、島崎藤村で有名な小諸城(長野県)の懐古門が描かれています。なお、忍者で人気の伊賀上野城(三重県)は築城時に完成しなかったが、近年造られたものです。参考のために現代の写真と最終の城主を添付しています。参考にしてください。

他に、箕面市の皆様がアッと驚く秘密のマンホール蓋写真を展示しました。会場のメープルホールロビーへ是非お子様やお孫さんとお出掛け下さり、ご覧下さい。(大町凱彦)



★まちなみ会議活動記録★

- 11月21日 見学会“西宮市甲陽園目神山地区景観重点地区”
- 24日 タウンウォッチング“箕面森町地区を散策”
- 30日 大阪美しい景観づくり推進会議総会出席
- 12月15日 タウンウォッチング“阪大豊中キャンパスから南山尾根道を辿る”
- 16日 定例会議:活動報告、指定樹木マップ改訂状況、緑視率計測結果
- 1月13日 定例会議:指定樹木マップ改訂の進捗状況、パネル展で緑視率を、どのように発表するか意見交換(28日 パネル展の展示具体案について意見集約)
- 2月10日 定例会議:指定樹木マップ改訂版発行予定、パネル展で緑視率他展示内容、まちなみ通信発行などそれぞれ報告(18日 パネル展の展示について最終確認)
- 3月5,8,11,14日 パネル作成作業
- 15日 「まちなかの指定樹木マップ」改訂版(カラー)完成
- 20日 まちなみ通信48号(パネル展特集号)発行
- 26日~4月2日 パネル展開催(メープルホールロビー)



・まちなみ会議では、一昨年よりまちなかのみどりの量を測る方法(緑視率など)の勉強を続けていますが、パネル展で市内各所で計測したみどりの量を、いろいろな角度から分析し発表しています。少し硬いテーマだけに、市民の方々に関心を持って頂き、緑の大切さを理解してもらいたくて、知恵を絞りました。皆様の反応が大変気になります。巻頭言で片岡さんが解説をしています。パネル展示をご覧になる時の参考にしてください。

・2期目を迎えられた箕面市の倉田市長に、寄稿をお願い致しました。ご多忙の日々ですが、市長自身の思い、考え方を強く示されました。「安心・支えあい最優先」「子育てしやすさ日本一」「緑・住みやすさ最優先」の3本の基本姿勢を推進され、「みどりとまちなみは箕面の宝です」と考えられて、新名神開通に対処した止々呂美田園景観保全地区指定、滝道沿道のにぎわい創設、北急行線の延伸に伴う都市化の波に対し、農地での営農の継続、活性化策の具体化検討など、次々と施策を具体化されて、みどりの大切さを力強く訴えられておられます。また昨年のパネル展もご覧いただき、緑視率に関心を示され、今年のパネル展にもご来場予定と伺っています。行政の立場と、私たち市民の視線や立場は異なりますが、互いに切磋琢磨して「箕面のみどりを豊かに」を共通の目標に研鑽したいと考えます。

・「まちなかの指定樹木マップ」の全面改訂版が完成しました。歳月が流れ、樹々の姿も変わりました。絵・解説も新たな視点で書き直しました。関連記事を今枝さん(解説)、岡島さん(絵)が執筆しています、ぜひお読み下さい。

・シリーズの“景観に配慮した色彩”では、ベンツの箕面カーセンターを採り上げました。箕面市の景観を守る方針に屋外看板を改装を機会に自主的に撤去されました。

・“学校便り”は、箕面で最も樹林の豊かな萱野小学校を紹介しました。子どもたちが「トトロの森」と名付けて親しんでいる様子が伺えます。(大町 凱彦)

発行:NPOみのお市民まちなみ会議

<http://minohmachinami.cocoiog-nifty.com>

代表者:今枝章平 ☎ 562-0046 箕面市桜ヶ丘 3-1-1

TEL&FAX 072-722-3253

郵便振込口座番号 0920-9-133953

